

北海道 名寄市

北海道の旭川と稚内の間に位置する北海道名寄市。北海道の多くの地名がそうであるようにアイヌ民族の言葉で「川の合流するところ」という意味の「ナイオロフ」が語源です。その言葉通り、天塩川と名寄川が合流するところに街が広がっています。広大な土地を生かした大規模農業が盛んであり、また、道北の中心地として大学や病院の集積する街でもあります。昭和29年には智恵文村と、平成18年には風連町と合併し、現在に至ります。杉並区とは旧風連町時代の平成元年7月に「交流自治体協定」を締結しました。

- 人口27,582人(平成30年12月)
- 面積535km²(杉並区の15倍の広さ)

01 アスパラまつり



6/5・6・7
「太くて柔らかくて甘い！」のが特徴の名寄産グリーンアスパラガスが買える年に一度の物産展。毎年開店前から行列ができるほどの人気です。 杉並区 交流課

02 一足早い秋の収穫祭



9/12・13
夏の短い名寄から、ちょっと早めに届く秋の味覚を集めた物産展です。糖度が高くとても甘いトモロコシは特に人気です。 杉並区 交流課

03 風舞連



高円寺阿波おどり団、名寄市公演がきっかけで誕生した「風舞連」。以来、東京高円寺阿波おどり団に毎年参加しています。

04 杉並区・名寄市子ども交流会



日本有数の天体望遠鏡やプラネタリウムなど、普段は体験できない星の輝きに対し、参加した小学生は興味津々でした。毎年6月頃募集。 杉並区 児童青少年課 ☎3393-4760

05 杉並の皆様へ

名寄市と杉並区が交流自治体提携30周年を迎えることができましたことを大変喜ばしく思います。交流自治体協定締結以後、「ふうれん白樺まつり」や「東京高円寺阿波おどり大会」などの各種イベントへの参加、小・中学生の子どもの交流事業、特産品の販売など幅広い交流が行われています。今年度は名寄市民の杉並訪問ツアーなどを予定しており、30周年を契機に更に両地域の交流が推進されるよう取り組んでまいります。 名寄市長 加藤剛士



06 なよろ



名寄市ご当地キャラ。頭はもち米、体は鏡餅をモチーフとし、星空を毎日眺めるため、望遠鏡を持っている。LINE STOREにてLINEスタンプを販売中です。 名寄市 営業戦略課 ☎01654-3-2111

07 畑自慢倶楽部



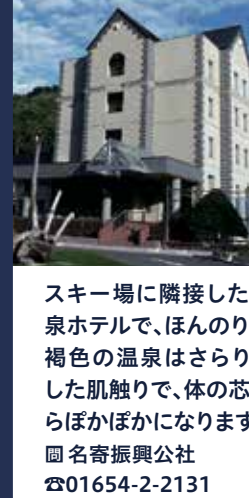
杉並にいなながら名寄の「おいしい」を味わえるのが「なよろの畑自慢倶楽部」。季節ごとの一番おいしい野菜をお届けいたします! 名寄市観光まちづくり協会 ☎01654-9-6711

08 ピヤンリシヤンツエ



国内の冬季ジャンプ大会では、シーズン最初の公式戦が開催され、歴代数多くのジャンパーから親しまれています。 名寄振興公社 ☎01654-2-2131

09 なよろ温泉サンピラー



スキー場に隣接した温泉ホテルで、ほんのり茶褐色の温泉はさらりとした肌触りで、体の芯からほかほかになります。 名寄振興公社 ☎01654-2-2131

群馬県 東吾妻町

群馬県北西部にある吾妻郡の中で東南側に位置し、町の周囲に1,000m級の峰々が連なります。国指定名勝にも選ばれている吾妻峡を有する吾妻川や日本水百選に選ばれた箱島湧水など、水と緑に恵まれた自然環境の豊かな町です。平成18年に吾妻町と東村が合併して今に至ります。杉並区とは吾妻町時代の平成元年8月に「友好自治体協定」を締結しました。 人口13,917人(平成30年11月) 面積254km²(杉並区の7.5倍の広さ)

16 吾妻の朝市



6~12月まで月1回開催(P4参照) 吾妻高原直送の新鮮野菜が売りの吾妻の朝市。野菜の種類が豊富で、また、安く購入できるためリピーターも多いです。 杉並区 交流課

18 上州いわびつ連



杉並区との交流がきっかけで発足した「上州いわびつ連」。阿波踊りを通じて交流を深めるため活動しています。

19 杉並区・東吾妻町パレーボール交流会



平成4年から東吾妻町と杉並区ではじまったパレーボール交流。今では、他の交流自治体も参加するなど交流の輪が広がっています。

20 区内の銭湯で東吾妻の温泉を



区内の銭湯では道の駅があつま峡日帰り入浴施設「天狗の湯」から運んだ温泉を楽しむことができるイベントを開催しています。 杉並浴場組合互助事業担当 ☎3312-0449

21 水仙ちゃん



町の花である水仙をモチーフにした妖精です。東吾妻の「ひ」の形をした魔法の力でみんなを明るく元気にします。 東吾妻町役場まちづくり推進課 ☎0279-68-2111

22 杉並区・東吾妻町子ども交流会



東吾妻と杉並の小学生がそれぞれの街を訪れます。毎年6月頃に募集があります。 杉並区 児童青少年課 ☎3393-4760

23 フレンドシップスクール



区立中学校の1年生が行うフレンドシップスクール。岩櫃山に登ったり、郷土料理を作ったりと、東吾妻には毎年杉並の生徒がお邪魔しています。 杉並区 学務課 ☎3312-2111

24 杉並の皆様へ

町村合併前の吾妻町の時代から始まった交流も早30年。この間、子どもから大人まで世代を超え様々な形で交流を深めてまいりました。全国各地の自治体の橋渡しにより今なお交流の輪は広がりが続き、心から感謝を申し上げます。未来へ向け、今後も変わらぬお付き合いをお願いいたします。 東吾妻町長 中澤恒喜

25 箱島湧水



箱島湧水は、日本水百選のひとつで、樹齢約400年の大杉の根元から湧き出る湧水はなんと日量3万トンの湧出量を誇ります。 東吾妻町観光協会 ☎0279-70-2110

26 水仙



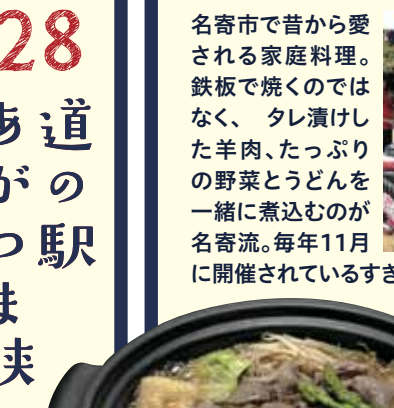
全国でも有数のラッパ水仙の産地である東吾妻町。岩井地区の親水公園脇にある畑では、春になると約30万本のラッパ水仙が咲き誇ります。 東吾妻町観光協会 ☎0279-70-2110

27 吾妻峡



国指定名勝の「吾妻峡」。遊歩道を進むと、そびえたつ懸崖、奇石、滝や八ッ場ダムを一望できる見晴らし台があります。 東吾妻町観光協会 ☎0279-70-2110

28 あがの駅



国指定名勝「吾妻峡」の玄関口、豊かな自然に囲まれた場所にある道の駅です。天然温泉の日帰り入浴施設「天狗の湯」も併設。特産品・お土産コーナーをはじめ、ドッグランや子供たちが遊べる遊具がたくさんあります。 道の駅があつま ☎0279-67-3193

29 コニファー



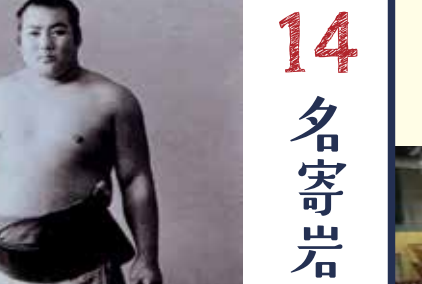
岩櫃山中腹にあるリゾートホテル。区民は2千円(高齢者3千円)引きで宿泊できます。和室・洋室の他にモダンハウスやキャンプ場もあります。 福レストリゾート コニファーいわびつ ☎0279-68-5338

30 岩櫃山



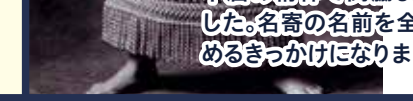
標高802mの岩山で、吾妻八景を代表する景勝地。新緑と紅葉の季節の登山がお勧めで、山頂からの景観は見事です。 東吾妻町観光協会 ☎0279-70-2110

10 ひまわり



道立サンピラーパークと智恵文地区では、8月になると、ひまわり畑が一面に広がり、「黄色いじゅうたん」が広大な大地を彩ります。 名寄市観光まちづくり協会 ☎01654-9-6711

11 道の駅の里



もち米生産量日本一の名寄産もち米を使用した「ソフト大福」は、年間130万個以上を販売する人気商品です。 名寄産の里ふうれん特産館 ☎01655-3-2332

12 地域おこし協力隊



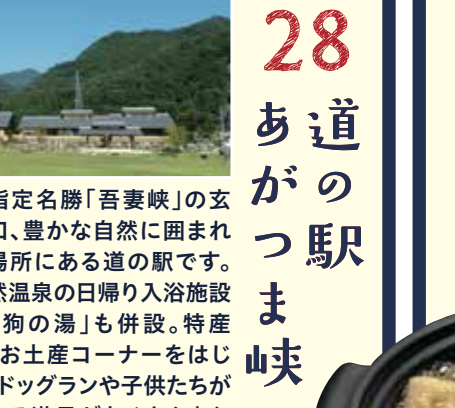
名寄市は、生産量日本一を誇るもち米やアスパラガス、スイートコーンの他、豊富な種類の農産物が生産できる道北のまちです。3年間農業支援員として農業研修や地域活動を行いながら、名寄市で新規就農を目指しませんか? 農業体験実習事業も実施していますので、ご興味のある方は、それぞれ募集要件についてお問い合わせください。 北海道名寄市経済部 農業経営担当または 農務課農政係 ☎01655-3-2511 (内線2319・2311)

13 カーリング



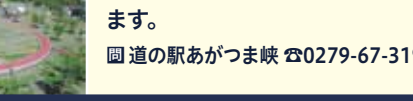
「サンピラーパークカーリング場」では、専門の指導員が常駐しているので、初心者でも基礎から体験が可能です(11月~3月)。あなたもカーリングデビューしよう! 名寄振興公社 ☎01654-2-2131

14 名寄岩



昭和初期、活躍した力士「名寄岩」。病氣の影響で大関から番付を突き落とされたが、不屈の精神で関脇まで復活した。名寄の名前を全国に広めるきっかけになりました。

15 名寄煮込み



名寄市で昔から愛される家庭料理。鉄板で焼くのではなく、タレ漬けした羊肉、たつぷりの野菜とうどんと一緒に煮込むのが名寄流。毎年11月に開催されているすぎなみフェスタに出店しています。 名寄市観光まちづくり協会 ☎01654-9-6711